

令和8年度 西東京市立学校 学校経営計画

学校名

西東京市立東伏見小学校

校長名

中嶋 太

教育理念及び学校教育目標

互いの人格を尊重し、自主・自立の精神と豊かな人間性を培い、知・徳・体の調和をとりながら生涯にわたって自己実現を目指す自立した児童の育成を図る。

- 心もからだも健康な子ども「体力向上・健康増進」
- ◎ よく考え実行する子ども「問題解決能力・情報活用能力・ESDの推進」(重点目標)
- なかよくはげましあう子ども「自己理解力・人格形成力」

学校の特色

- 下野谷遺跡・都立東伏見公園・石神井川等の地域の魅力を生かし、共に歩む学校
～「地域は教材、地域は先生、地域は教室」を基盤とした地域学習の推進～
- 夢中になれる授業を子どもたちと創る学校
～主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを日々の授業で目指す～
- 挨拶活動や交流・体育活動を盛んにし、心も体も豊かに育てる学校
～なかよし活動や幼保・小・中連携等の活性化～
- 歴史があり、緑あふれる自然豊かな学校
～開校70周年記念事業の推進、学校園(藍や稲の栽培)と芝生の整備、生きものとの触れ合い～
- 特別支援教室拠点校として、「誰一人取り残さない」教育の推進を図る学校
～一人一人の特性や課題に応じた教育活動の推進と連携の強化～
- コミュニティ・スクールとして、保護者や地域の代表者が学校運営に参画する学校
～「地域と共にある学校づくり」、「学校と共にある地域づくり」の推進～
- 地域学校協働活動の取組として、地域の中核となる取組を模索する学校
～PTA・くじら山・育成会・かっぱらっぱ・図書ボラ・親くじら・どろんこ作業所・避難所運営等～

目指す学校像 (学校像、児童・生徒像、教師像)

<目指す学校像> 「一人一人のよさが生き、共に学び高め合っていく学校」

- 児童が安心して伸び伸びと自分の力を発揮できる学校
- かかわりを大切に「確かな学力」「豊かな心」「たくましい体」をはぐくむ学校
- 一人一人を大切に、個々の課題解決を支援する学校(特別支援教育の充実)
- 保護者・地域と手を取り合い、安全・安心な環境を創り出す学校

<目指す児童像>

- 「ふれあい」「しんせつ」「みとめあい」を大切にする児童(ふ・し・みっ子)
- 「かながえる」「まちがえる」「ふりかえる」を基調に、全力で学びを深める子(3かえる)
- 「なりたい自分」の実現に向け、主体的に学び、元気に遊び、夢をもつ児童
- 愛校心をもち、学校や地域のよさに気付き、感謝と誇りをもって共に歩む児童

<目指す教師像>

- 落ち着いた雰囲気の中で、魅力ある授業・夢中になれる授業を創る教師
- 「あったか先生」として児童の心に寄り添い、よさや不安に気付く眼をもち、褒めて伸ばす温かい教師
- 学校経営計画の実現に向けてPDCAサイクルを活性化させ、チャレンジし続ける教師
- ライフワークバランスに日々留意するとともに、教職員一丸となって服務事故ゼロ達成を目指す教師

学校経営の目標

1 中期経営目標（中間的課題）

- 【確かな学力の育成】 問題解決的な学習を通じた主体的・対話的で深い学びのある授業の創造
- 【豊かな心の育成】 自尊感情と人権尊重の精神の涵養とキャリア教育の充実
- 【健康と体力の育成】 よりよい生活習慣に基づく健康・食育の推進と、体力の向上
- 【地域に開く学校】 地域の環境や人材を活用した教育活動の一層の充実と活性化
- 【学校力の強化】 「働きやすさ」と「働きがい」の両立

2 短期経営目標（1に基づく本年度の重点目標）

- 【確かな学力の育成】
 - 基礎的・基本的な学習の継続的な取組を基盤とした、考える力・表す力の着実な育成
 - タブレット等を活用した情報活用能力の育成と、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の推進
 - ◎社会とつながり未来を創る子どもを育成する授業の推進
 - ◎問題解決力の育成を柱とした「ふるさと探究学習」の計画的な位置付けと推進
- 【豊かな心の育成】
 - 心に響く「特別の教科道徳」の授業に向け、自らの行動、生活を振り返る活動の充実
 - ◎相手を思いやる気持ちと、多様性を認め相互に支え合う意識、70周年行事を通じた愛校心の醸成
 - ◎特別支援教室の拠点校として、一人一人の課題に応じた指導の充実
- 【健康と体力の育成】
 - めあてに向かってすすんで取り組もうとする体育授業の充実と、日常的な運動習慣の醸成
 - 健康の増進と保健衛生の向上、規則正しい生活習慣の育成
 - バランスのとれた豊かで楽しい給食活動と食育指導を通じた食への意識の高揚
- 【地域に開く学校】
 - ◎地域の宝である下野谷遺跡を全学年の計画に位置付けるなど、地域の人材・教材を活用した活動の推進
 - ◎70周年記念事業を通じた、学校を核とした保護者・地域・学校関係者との連携の推進
 - コミュニティ・スクールとして地域に開かれた取組の充実と地域学校協働活動の推進
 - 情報発信の充実と、アンケート等を通じた短期スパンでのPDCAサイクルの活性化
- 【学校力の強化】
 - 業務のICT化、校務分掌の効率化、会議・業務のスリム化等を通じた勤務時間縮小の模索
 - 「西東京あったか先生」の推進と、教職員スタッフの人権意識向上、服務事故防止の徹底

具体的方策（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

- 【確かな学力】
 - 「東京ベーシックドリル」「くじらタイム」「学習スタンダード」「読書旬間」の活用による基礎学力の定着
 - 授業改善プランの推進と、「家庭学習の手引き」「チャレンジ家庭学習」を活用した家庭との連携
 - 週ごとの指導計画への^⑦（タブレット）マークの位置付け（週3日以上）とミライシードの積極的活用
 - ◎学んだことを基に、社会と自己との関わりや、社会の在り方について考える活動の充実（2月の研究発表）
 - 日々のめあて・振り返りの徹底と、すすんで問題を見だし解決に向けて追究する学習の充実
 - ◎地域の人材・教材を活用した「ふるさと探究学習」の推進と伴走者としての学習支援の充実
- 【豊かな心の育成】
 - 毎週の「特別の教科道徳」の授業における振り返りのカードやノートの実施
 - ◎ふれあい月間における心を育てる取組と、「いじめ防止宣言」策定を通じたいじめ防止啓発活動の充実
 - 「なかよし活動」を通じた交流活動や挨拶活動、出前授業の充実と、別室支援室「こころルーム」の活用
 - ◎児童の実態に応じた特別支援教室の運営と、特別支援教室と通常学級との連携活動の推進
- 【健康と体力の育成】
 - 体力調査の課題克服、オリンピック活用を通じた体育授業の工夫と、安全で魅力ある体育授業の推進
 - 「サニーマンデー」と「ロング昼休み」の継続的実施と、年2回の一校一取組運動の充実
 - 健康教室等を通じた保健指導の充実と、生活振り返り週間等を通じた生活リズムの確立
 - 給食放送や食育集会の実施、「給食だより」の工夫、給食食材の地産地消の推進
- 【地域に開く学校】
 - ◎下野谷遺跡を中心とした地域教材を活用した「ふるさと」意識の醸成と、対外的な学習成果の発表模索
 - ◎70周年記念集会や式典等を通じた、児童の能動的な取組の推進と学校関係者とのよりよい関係の構築
 - 年5回の学校運営協議会の充実と、地域学校協働活動による協働体制の確立
 - 地域、保護者を基盤とした様々な関係団体との連携と、教育課程内外の取組の充実
 - ホームページの日常的な更新や「すぐる」の積極的な配信と、児童・保護者からのアンケートの活用
- 【学校力の強化】
 - 時間外在校等時間の1か月45時間以下100%と、1年間平均30時間以内の目標設定
 - 年間年次有給休暇の平均所得日数10日以上目標設定
 - 毎月の「あったか先生チェックシート」・毎学期の個人情報徹底週間を活用した自己点検と、毎学期の服務事故防止研修の充実